

第3回東地区中心市街地複合施設あり方懇話会議事録（概要）

1. 日時 令和4年10月18日（火）17時～18時30分

2. 場所 舞鶴市役所 議員協議会室

3. 委員 9名（1名欠席）

宗本 順三 学識経験者（京都大学名誉教授）

尾上 亮介 学識経験者（舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科教授）

谷口 知弘 学識経験者（福知山公立大学地域経営学部教授）

伊庭 八郎 八島商店街商業協同組合

名取 貴春 三条商店街振興組合

村山 暢茂 舞鶴東自治連合会

百田 重男 舞鶴西自治連合会

上野 和美 まいづるネットワークの会

材木 博 京都北都信用金庫東舞鶴中央支店

4. 懇話会次第

（1）開会

（2）議事

①事務局からの説明

②意見交換

③今後の日程について

（3）閉会

5. 意見交換内容（※主な意見は以下のとおり）

【対象とする世代】

◆世の中は若者ではなく、シニア層をターゲットにしているのが現実であり、本来のマーケティングとしては、層の厚いところ（高齢者）にターゲットを置くのが普通ではないかと考える。

◆選挙権がある高齢者は若者に比べて優遇されており、これからは将来を担う若者を社会全体で支援できるシステムが必要であり、将来のためには、若者が活躍できる場を作ることが大切だと考える。

◆若者を大事にしないと次世代には繋がらないと思う。

◆「若者」をターゲットとすることには賛成だが、当該地区は高齢化が進んでいるのが実態であり、高齢者も対象として考えるべき。

◆周辺地域がほぼ高齢化している状態の中で地元の高齢者が取り残されない仕組みが必要だと考える。

◆若者が集える場所は今作っておかないとどんどん若者が離れていくと思う。

【まちづくりやエリアに関する考え方】

- ◆歩けるまちづくりが各地で進んでおり、舞鶴でもコンパクトシティが進んでいる中で、旧マイコムをどう活用するのか。
- ◆急に脱却することは難しいが、ウォーカービリティ（まちなかの歩きやすさ）の流れが道路行政を変えていこうという動きある中で、舞鶴のまちなかでも車両の通行を禁止するという考え方もありだと思っている。まちづくりを考えていくその先に旧マイコムをどうするかという議論がある。
- ◆旧マイコムをどうするかは市全体をどうするかの議論でもある。
- ◆高校生や若者を地域と繋ぐ場所が東の中心地には必要なのかもしれないが、旧マイコムをリノベーションして作るのかどうかは議論の余地がある。
- ◆若者のためのスペースは早く作らないといけないが、ハードだけでなく支援する仕組み、人も欠かせない。
- ◆近隣にスーパーができれば人は集まるが、それだけではなく、魅力があるお店がないと若者は集まらないと思う。
- ◆まちの様子も変わってきて（空き地や空き店舗が増え）、今はマイコムの規模感に違和感がある。（大きすぎる）

【今後の施設に期待する機能や役割】

- ◆屋上は景色が良いため喫茶店等とし、1階は若者が集えるレンタルスペース（子ども・学生を対象）などにしてはどうか。
- ◆眺望を活かした大人のスペースと下の階は子どもや若者が無料で使え、くつろげるスペースにしてはどうか。
- ◆旧マイコムについては、商店街で軽食などを購入した後に若者が集えるイートインスペースとしての活用や、ダンススクールの開設に伴い自主練習ができる場所を設けてはどうかと思う。
- ◆イートインスペースについては、若い人が活用するには重要であると思う。
- ◆駐車場機能については、イベント開催時、観光客向けに活用か期待されることから残すべきだと考える。
- ◆この施設を何らかの形で残し、7階の景色が良いところを何とか生かせないだろうか。
- ◆今ある施設を有効活用できれば、コスト的にも一番良いだろう。
- ◆若者が自ら成長したり交流したりできる、集える場所がまちなかにできて、地元商業者とも交流できる拠点となれば良いと思う。
- ◆老人体操で旧マイコムを利用している者もあり、今後も、そのようなスペースは必ず残してほしい。
- ◆駐車場は現在の半分の規模でいいのではないか。
- ◆現在の駐車場スペースを他に転用すればスペースが生まれる。
- ◆眺望も大切だが、地面に近い施設にして、メンテナンスに費用がかからない、適切な規

模で、人が入りやすい施設にしてはどうだろうか。

- ◆オフィスなどに転用することは可能だろうが、駐車場向けの設計であるがゆえに難しさが残る。ただし、用途を変えれば今後 100 年間活用することも可能だと思う。
- ◆将来に負担を残したくはないが、一方では若者のために残していかないといけない機能もある。
- ◆旧マイコムの場所が、若者の集い学ぶ場所と重なるものなのかどうか、気になっている。

【施設の老朽化と改修計画について】

- ◆新築するとなると数億円から数十億円の費用が必要だと思うが、それだけの経費をかけて建てた場合のリスクもしっかり考えて欲しい。
- ◆若い人で賑わうようになるのは良いことだが、そこには多くの税金が投入されることになるので、やりたいことの議論だけではなく、やっではいけないことも合わせて議論すべきだと思う。
- ◆行政が新築することを前提に考えるのではなく、一旦撤去して、まちなかの賑わいづくりなど、まちづくりのコンセプトに合った民間企業に任せれば真剣に取り組むのではないだろうか。
- ◆旧マイコム駐車場については月極（定期利用）がなくなれば、周辺の更地や空き家も（駐車場需要に応じて）流動化するのではないかと思う。
- ◆この施設を自己資産だと考えた場合、自分なら一旦解体撤去すると思う。
- ◆改修しても、そのまま維持するにしても、今後も税金で維持管理をしていくことには変わりはない。
- ◆舞鶴市の公共施設全体の床面積を減らしていかないと、今後、公共施設の維持はできなくなるだろう。
- ◆民間活用については、コストも踏まえた上で考えなければならず、思いだけでは、なかなか結論はでないだろう。
- ◆民間企業に任せるのはベストだと思うが、なかなか実際に投資してくれる企業は少ないと思う。

6. 今後の進め方について

活発な意見があった中で、条件面も整理してまとめ、第 4 回目を 11 月中旬に開催予定。